

Raspberry Pi での EGS5 の実行

辻 修平
川崎医科大学

Raspberry Pi は、ARM プロセッサを搭載したシングルボードコンピュータで、イギリスのラズベリーパイ財団によって開発されている。最新バージョンは、Raspberry Pi 3 Model B で、搭載されている CPU は、消費電力を抑えた特徴を持つ ARM Cortex-A53 であり、これは、クロック周波数 1.2GHz でクアッドコアの性能を持つ。またメモリーも前バージョンの 2 倍の 1GB まで拡張された。OS に関しては、独自の Raspbian という Linux ディストリビューションが準備されており、microSD カードに書き込んで使用できる。さらに Ubuntu、Windows10 系の OS も準備されている。

試行錯誤の上、Raspberry Pi の OS Raspbian のもとで EGS5 が実行できることを確認した。

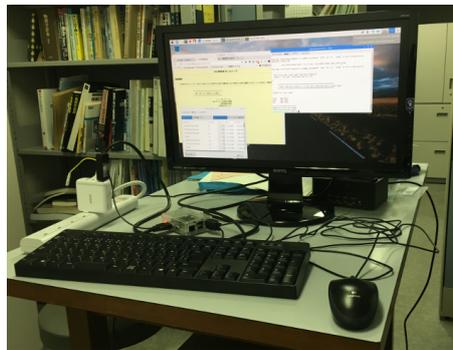


図 1:Raspberry Pi にディスプレイ、キーボード、マウスをつないだデスクトップ環境

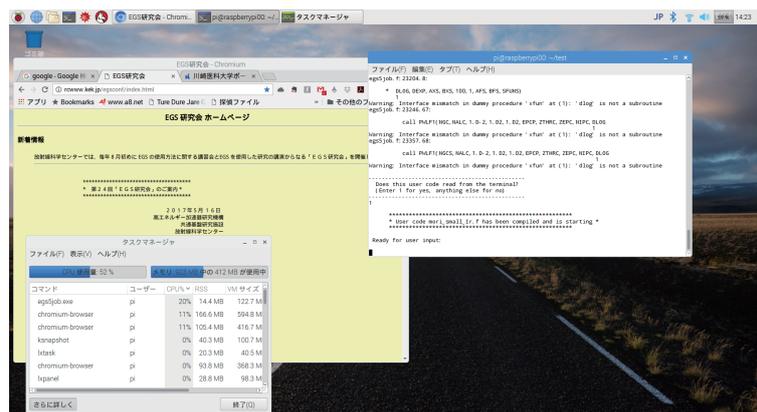


図 2:Raspbian のターミナル上で EGS5 を走らせている様子

今回、「Raspberry Pi 上でこうすれば EGS5 を実行できる。」といった具体的方法を中心に発表する。また、Core i7 搭載のパソコン上での EGS5 の実行との比較、消費電力、構築費用、さらにこれらを検討した上で今後の展望も発表する。